

## 自転車利用実態定点調査報告(A地点)

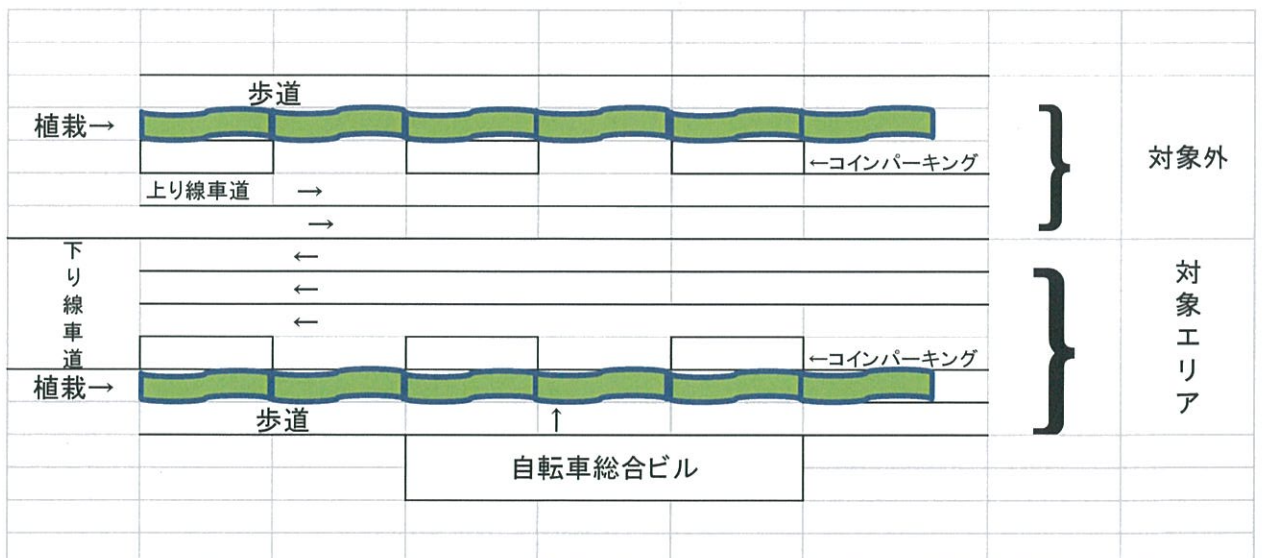
平成28年4月

(一財)日本自転車普及協会

**調査目的** 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

**調査日時** 平成28年3月1日～31日  
[午前]9:00～10:00、[午後]13:30～14:30

- 調査場所** ・ 自転車総合ビル前（目黒駅方面に50m程緩い下り坂）
- 概要** ・ 調査対象(車道線:目黒通り下り3車線[内側1車線駐車帯])  
(歩道:幅員5m・植栽1.5m～2mのため、実質通行幅3m～3.5m)
- ・ 調査対象外(車道線:目黒通り上り2車線[内側1車線駐車帯]及び上り歩道)



**調査事項** 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態定点調査票

	走行空間				車種		両足		危険運転行為							
	車道左側	車道右側	車道中央	歩道	子乗せ	電動	車	自転車	肩荷	携帯無線	スピード出しすぎ	片手運転	立ち漕ぎ	ハンドルに荷物	過積載	その他
1																
2																
3																
4																
5																
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
21																
22																
23																
24																
25																

調査日時：	平成	年	月	日	( )
天気：					風速：
調査時間：			～		

<調査票>

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、6～35%と多岐にわたるが、平均すると21%程度である。

依然、歩道を通行する自転車が多く、今回も、全体の7割程度を占めている。同一地点(個別データ)においても、午前と午後で異なったデータとなっている。

◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(169件)・ハンドルに荷物(101件)・立ち漕ぎ(51件)・片手運転(44件/内4件は、携帯電話を使用しながらの運転)・車道右側走行(42件)・子乗せ後部席に荷物(\*1)(29件)・脇見運転(21件)・過積載(19件)・ジグザグ運転(14件)・歩道上でのスピードの出しすぎ(11件)等の順となっている。

\*1 子乗せ後部席に荷物を掛ける事は、もし、気が付かない間に落下して、歩行者や自転車等に迷惑(通行障害・事故起因等)を及ぼしかねないので、基本、止めた方が望ましい。

## 【総合】

今回は、平成 27 年度第 12 回目の調査となり、平成 27 年 4～平成 28 年 3 月分の 12 カ月期間で様々な点で比較してみた。

- ・利用者別                    今回も、午前が午後の利用者を上回った。
  
- ・車道左側走行率            今回(21.1%)は、12カ月間中では上位で、2月(22.5%)・11月(21.6%)・10月(21.2%)・12月及び3月(21.1%)・1月(20.6%)・4月(18.9%)・5月及び6月(17.9%)・7月(17.3%)・8月(15.9%)・9月(13.6%)の順である。  
                                  なお、午前のデータ(20.8%)も、12カ月間中では上位で、2月(22.2%)・11月及び10月(22.0%)・3月・4月及び6月(20.6%)・12月(20.4%)・1月(20.2%)・5月(19%)・7月(18.4%)・8月(14.7%)・9月(12.5%)の順である。  
                                  また、午後のデータ(21.6%)も、12カ月間中では上位で、2月(23.1%)・12月(22.2%)・3月・1月及び11月(20.9%)・10月(19.9%)・8月(17.5%)・4月及び5月(16.6%)・7月(16.1%)・9月(15.6%)・6月(14.8%)の順である。
  
- ・子乗せ自転車              今回(21.7%)は、12カ月間中では中位で、11月(26.3%)・2月(24.4%)・10月(23.4%)・1月(22.8%)・12月(22%)・3月・5月(20%)・4月(18.4%)・7月(17.5%)・6月(16.9%)・9月(15.7%)・8月(13.9%)の順である。
  
- ・電動自転車                今回(38.1%)は、12カ月間中では上位で、11月(39.2%)・10月(39.0%)・3月・2月(36.3%)・1月(35.9%)・12月(34.4%)・5月(27.1%)・4月(26.5%)・7月(25.7%)・9月(25.6%)・6月(23.9%)・8月(23.5%)の順である。
  
- ・危険運転行為  
(違反行為を含む)            上位3件別では、今回は、[肩に荷物・ハンドルに荷物・立ち漕ぎ]の順であり、期間中の共通項目は、肩に荷物・ハンドルに荷物である。  
                                  一方、下位3件別では、今回も、[過積載・ジグザグ運転・歩道上でのスピードの出しすぎ]の順であり、期間中の共通項目は、該当なし。

なお、今回も、肩に荷物・ハンドルに荷物だけで、全体(517件)の5割強(270件)を占める形となった。

(危険防止の観点から籠の装備や荷台に装着等の必要性がある)

また、利用者全体(1107名)における危険運転行為(違反行為を含み 517件)の比率は、割合上(\*2)では、47%となっている。

\*2 実際は、1名で複数の危険運転行為等を実施している件も含まれているため

なお、今回は、新たな危険運転行為として、子乗せ後部席に一輪車載せが発生した。

一輪車が座席から落下する危険性が高いので、止めるべき行為である。

平成27年6月に道路交通法が改正され自転車利用者にとっては、交通ルール・マナー等の遵守が徹底された経緯にも拘わらず、改正後の車道左側走行率のデータについては、減少傾向であったが、10~11月は、回復し、その後は、横ばいであり、2月に再び回復し、今月は、横ばいである。

更に、今後の状況に期待したいものである。

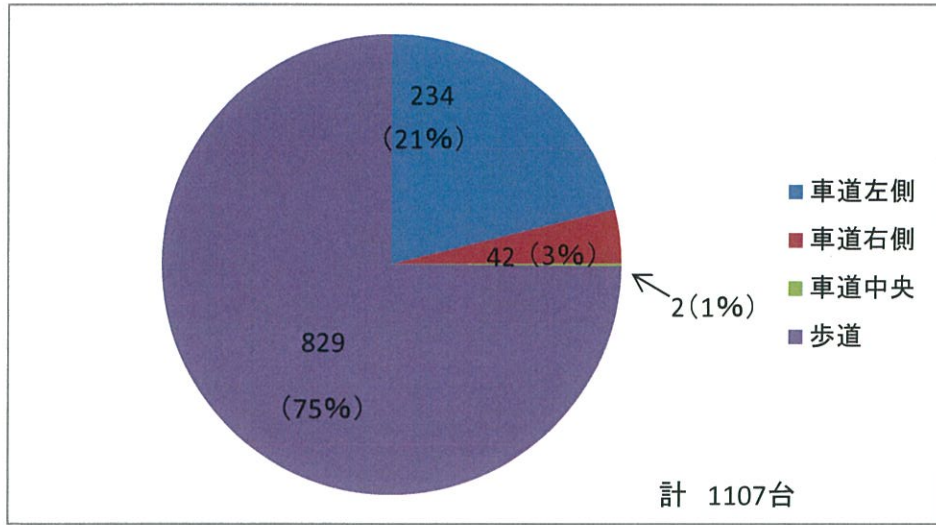
今回の雨天時のデータは、傘さし運転者(計1人)に対し、合羽着用者(計23人)という高倍率であった。

単に傘さし運転者が少なかったという理由でなく、雨天時には、合羽を着用するというマナーの向上の顕れであると考慮される。

調査期間は、3日間であった。

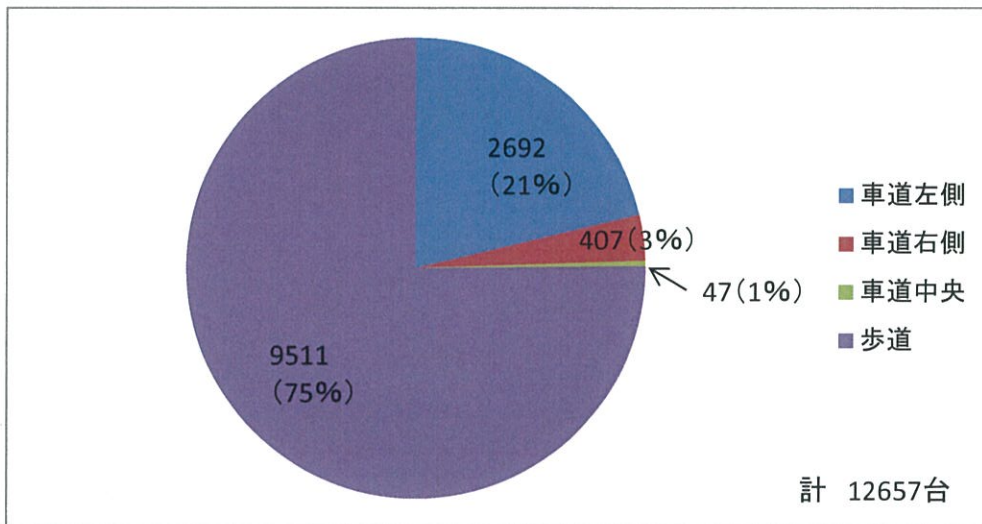
参考として、6月のデータでは、道路交通法が改正された初月でもあり、一部報道で合羽の購買額が増加した経緯もあり、調査期間4日間で、合羽着用者(計25人)は、傘さし運転者(計5人)の5倍であったデータを遥かに上回った。

更に、今後の状況に期待したいものである。

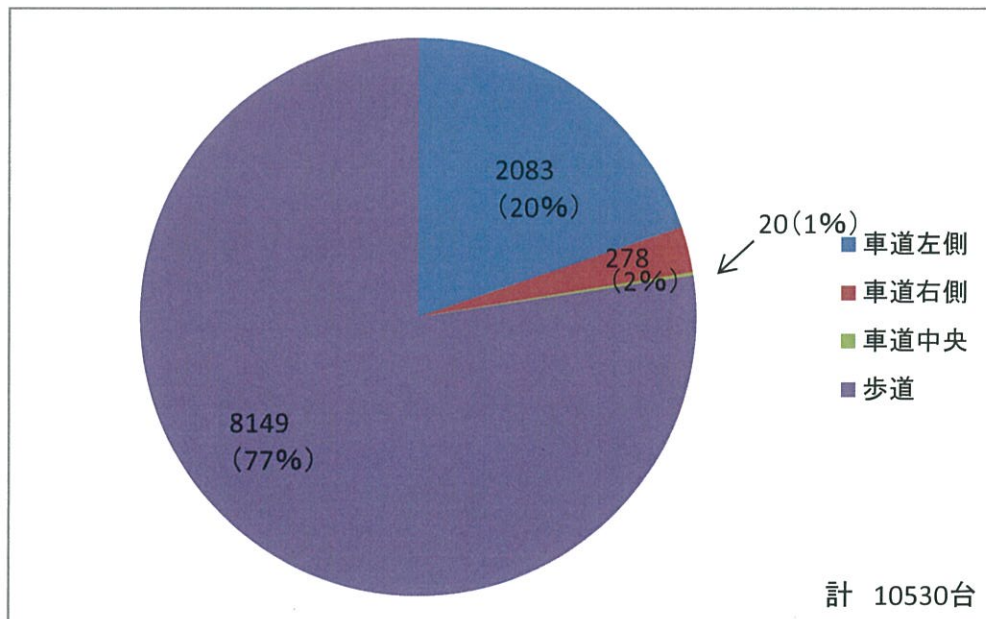


走行空間 調査期間 3/1~31

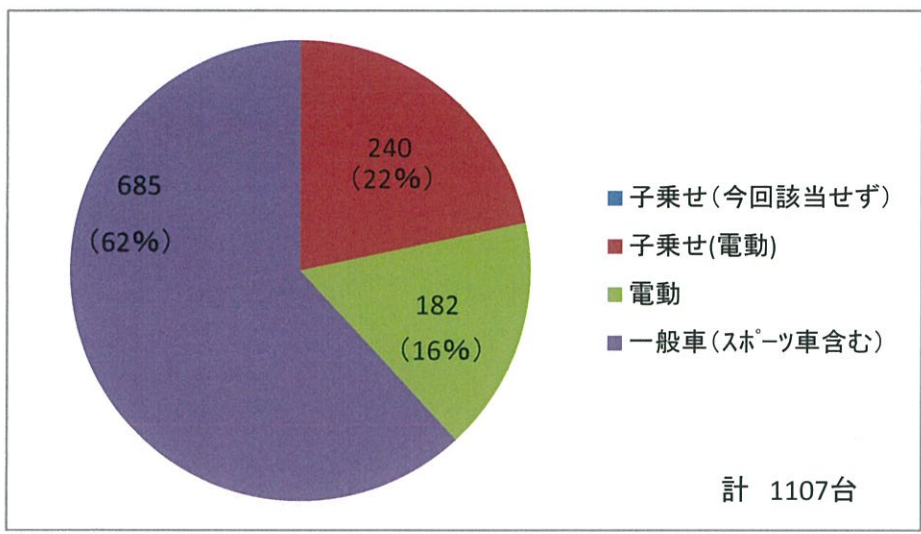
\* 参考)



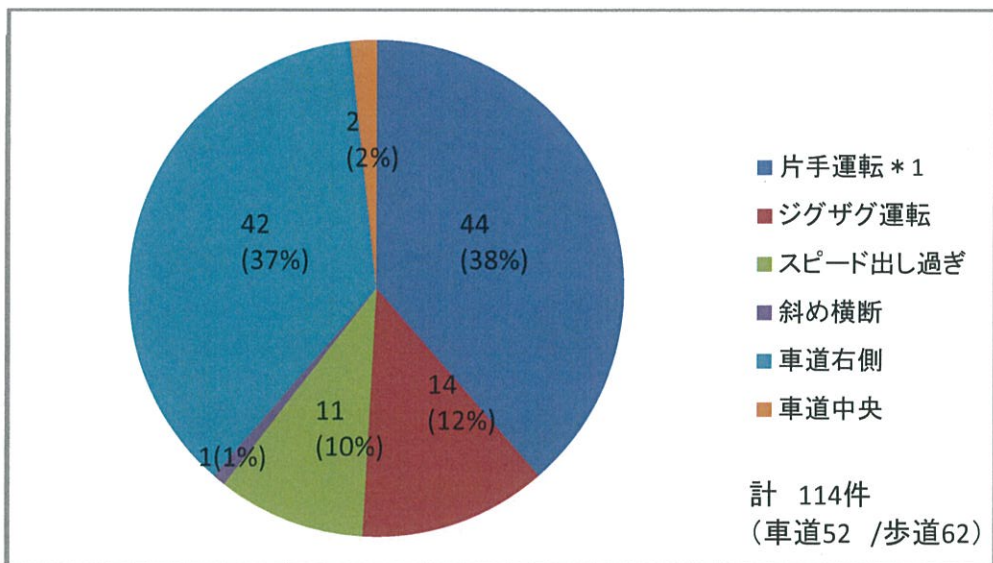
走行空間 調査期間 26.7~27.5 (道路交通法改正前)



走行空間 調査期間 27.6~28.3 (道路交通法改正後)

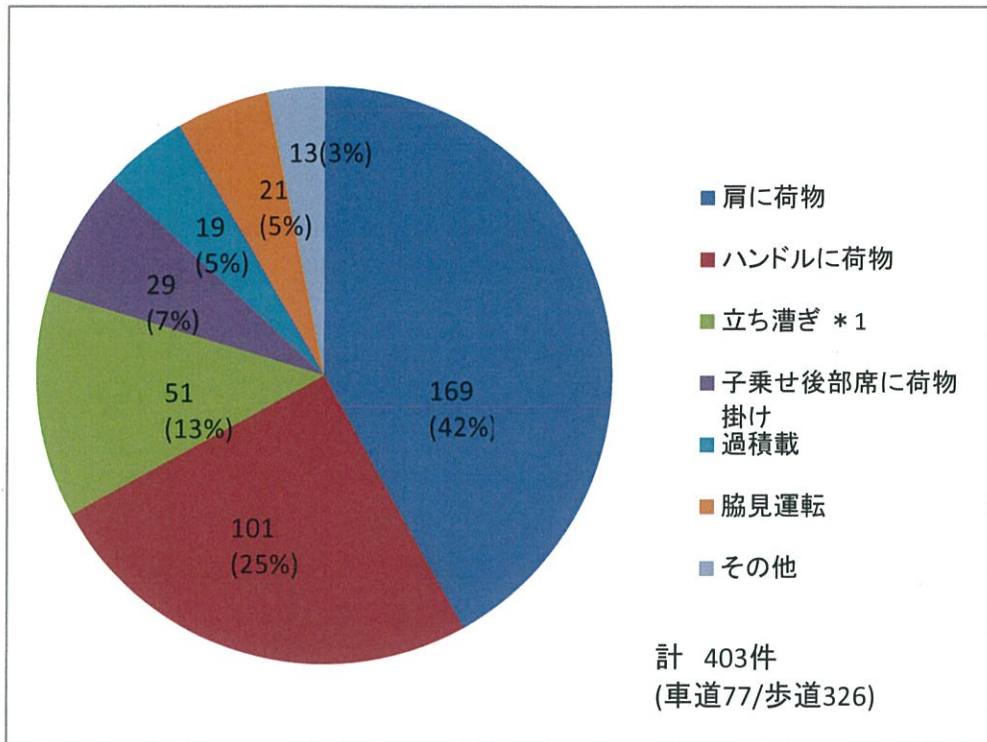


車 種 調査期間 3/1~31



違反運転行為 調査期間 3/1~31

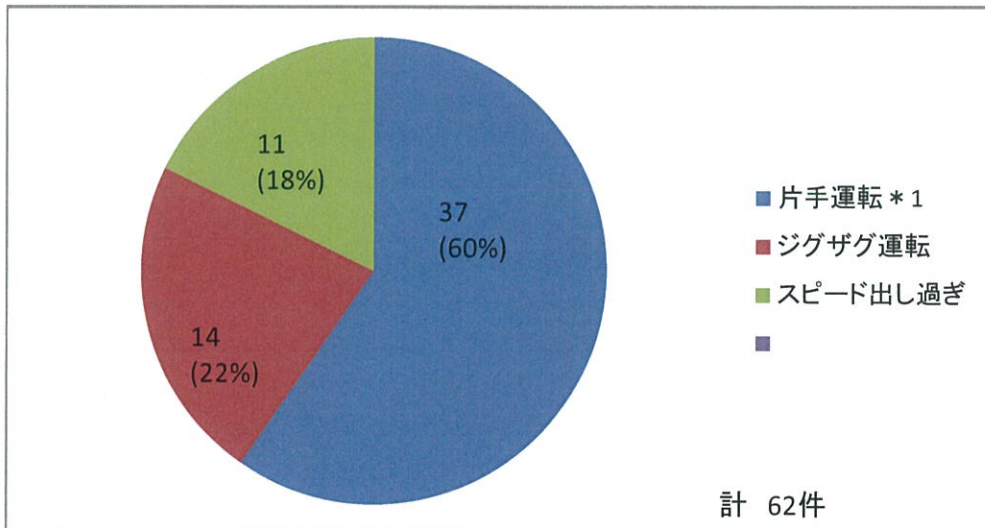
\*1 内4件 携帯電話を使用中の運転



危険運転行為

調査期間 3/1~31

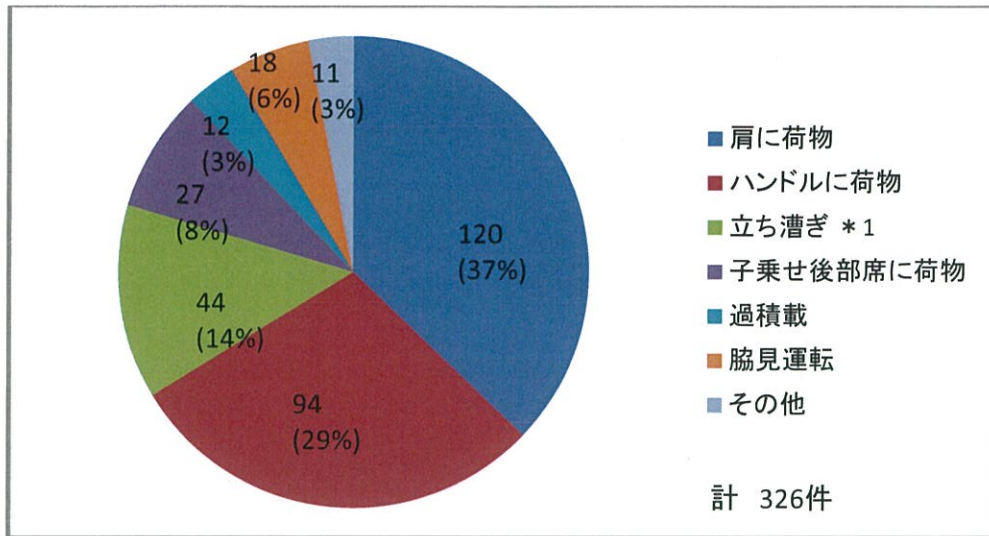
\* 1 比率内訳: 上り坂44・下り坂7



違反運転行為  
(歩道上)

調査期間 3/1~31

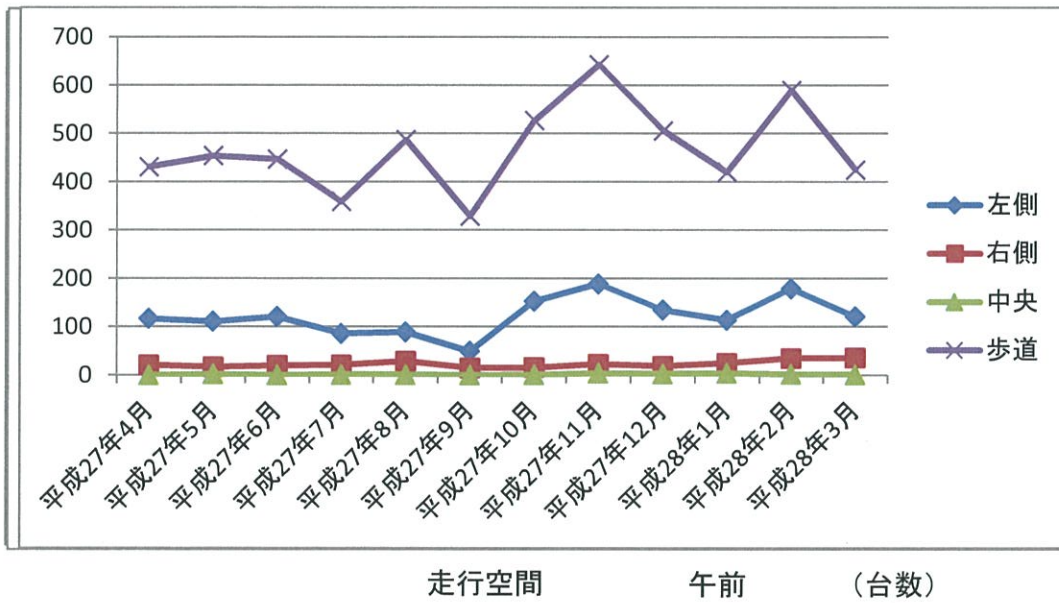
\* 1 内2件 携帯電話を使用中の運転



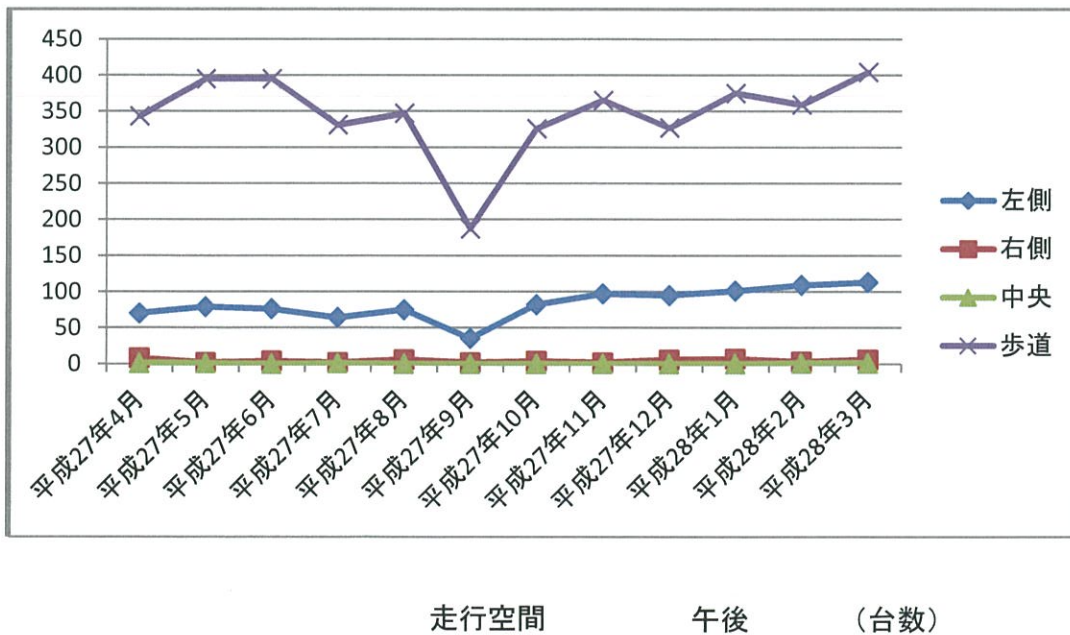
危険運転行為  
(歩道上)

調査期間 3/1~31

\*1 比率内訳: 上り坂39・下り坂5

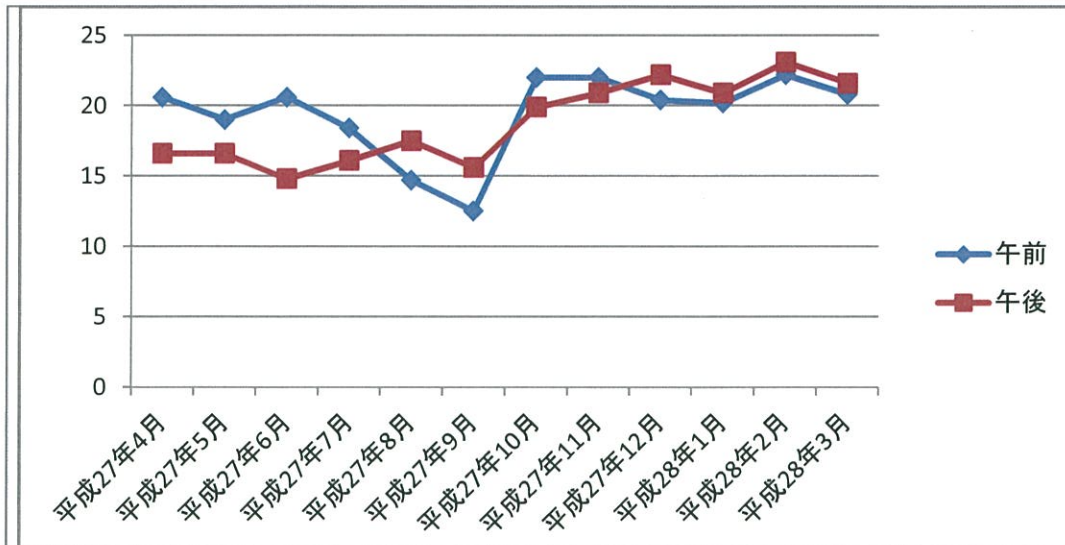


走行空間 午前 (台数)



走行空間 午後 (台数)





車道左側走行率 (%)

